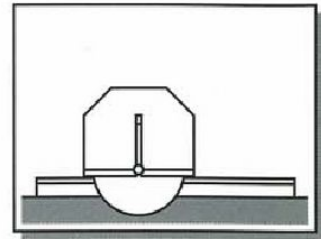


ウォールソー工事

ウォールソー工事は、施工面に取り付けたレール上を、機械が自走しながら切断する工法で、主に以下のような場合に用います。

◎コンクリート構造の建築物改修・解体工事で、切断精度が求められる場合



《施工手順》

- ①切断箇所にラインを引きます。
- ②アンカーを打設し、躯体にレールを設置します。
- ③レールに機械を固定し、切断ラインに沿って微調整をした後、レールのアンカーを本締めします。ブレードカバーもしっかりと取り付けます。他のダイヤモンド工事と同様、大量の冷却水を使用しますので、必要に応じて、ノロ水の養生をしておきます。
- ④切断後にガラとなる予定の部分を、チェーンブロック等であらかじめ吊り上げておき、落下防止と同時にブレードへ掛かる負荷の軽減対策とします。
- ⑤機械を始動し、冷却水を給水しながら切断を開始します。
- ⑥最初は、躯体に対して垂直に切り込み、貫通した後に、ラインに沿って切断して行きます。
- ⑦予定箇所を切断し終えた時点で給水及び回転を停止し、機械を最初の位置まで戻して、切断完了です。
- ⑧開口部を新設する場合は、切断箇所の端部を切断する厚みと同じだけオーバーランさせます。
- ⑨ガラはワイヤーソーと同様、その場で細かく破砕するか、吊り上げるなどして搬出します。

その他ダイヤモンド工事

その他の主なダイヤモンド工事は、以下の通り。

◎ハンドコア

吹付け材やタイル等で施工面が既に仕上がっており、ベース固定用のアンカーが打てず、吸盤も使用できないような場合の穿孔。
あるいは耐震工事におけるあと施工アンカー下孔用として、10~30φ程度の小口径の穿孔時等に用いられます。
各メーカーから様々なタイプが発売されています。



◎カップリングサンダー

ハツリ作業後の表面処理や、型枠解体後の躯体表面を平滑に削る時等に用いられます。
通常は冷却水を使用しませんので、粉塵が大量に発生します。



◎ウェーブコアブレード

圧縮試験用のテストピースを切り揃える場合等に使用します。

◎ハンドカッター

溝ハツリの前に周囲の躯体と縁を切ったり、クラック注入や止水工事の前に、V字やU字の溝を切る場合に用います。
カップと同様、冷却水を使用しませんので、粉塵が大量に発生します。



◎ALCコア

ダイヤモンドは使用していませんが、ALC内部のメッシュ筋を超硬チップで切断します。
ハンドタイプのドリルで穿孔するため、芯ブレ防止のセンターピンが付いています。